

ゼロコン競技規則

概説

1. ゼロコンはボルダリングでの競技とする。
2. カテゴリーはキングスライム・メタルスライム・スライム・勇者（キッズ）の4カテゴリーとする。
3. 参加資格はジム内レッドポイント初段以下の小学生以上を対象とします。
4. 競技方法は予選ラウンドと決勝ラウンドにて行い予選ラウンドはセッション方式（60分と40分の2ヒート）とし決勝ラウンドはベルトコンベア方式（事前オブザベーションの1課題3分）で行います。
5. 各課題は使用可能ホールド・ハリボテをテープで明示する。それ以外のホールド・ハリボテを使用する事は出来ない。また、壁の形状は制限が無い限り使用する事が出来る。
6. 各課題には、アテンプトを開始するスタートホールドに『S』、ボーナスに『B』（ボーナスポイントが複数個ある場合には、最終ホールドに近い方から『B1』・『B2』とする）、最終ホールドに『G』を明示する。また、各課題のスタートには課題No.を明示する。（足自由課題もスタートに明示する）

競技中ルール

1. アテンプトは、定められたスターティング・ポジションから選手の身体のあらゆる部位がマットから離れた時に開始とする。（スターティング・ポジションとは、定められたスタートホールドを両手（左右異なる場合もある）で保持し、両足を定められたホールドか壁に置く状態である。）
2. ボーナスポイントは各課題に1~2設定される。選手はボーナスホールドを保持する事（ジャッジが認め『ボーナス』と宣言したとき）により認定される。また、ボーナスホールドを使用せずに完登した場合も認定される。
3. 完登は課題の最終ホールドに両手が達した事をジャッジが認め『OK』と宣言したときに完登と認定される。
4. クリーニングはジャッジに要求する事ができる。また、選手は地面から届くところのホールドを自らクリーニングすることができる。ただし、チョークをつけること、またはティックマークをつけることは1回のアテンプトに数えられる。
5. 予選・決勝共にセッション時間・トライ時間が終了してからの完登は無効です。
6. 選手はトライ前にジャッジにジャッジペーパーを渡し、トライする課題No.を申告してからトライして下さい。
7. ジャッジペーパーは各自で保管して下さい。紛失した場合失格となります。
8. 予選2ラウンド目が終了した時点でジャッジペーパーを回収します。ジャッジペーパーは近くのジャッジもしくはスタッフに提出して下さい。
9. 以下の示す場合はアテンプトが成功しなかったとみなされ、ジャッジより中止を宣言される。
 - 1) スターティング・ポジションに達せられなかった場合。
 - 2) 指定以外のホールドを使用した場合
 - 3) いずれの部位であれ選手の体がマットに触れた場合。
 - 4) 1つの課題のトライ時間が2分を超えた場合。
 - 5) 予選セッション時間・決勝トライ時間が終了した場合。

順位付け

1. 予選ラウンド後、選手は以下の基準で順位付けされる。
 - 1) 完登した課題数
 - 2) ボーナスポイントの数
 2. 決勝ラウンド後、選手は以下の基準で順位付けされる。
 - 1) 完登した課題数
 - 2) 完登までのアテンプト数の合計
 - 3) ボーナスポイントの数
 - 4) ボーナスポイントに達するまでのアテンプト数の合計
- (ボーナスが2つ設定されている場合は、B1を優先し次いでB2により順位付けされる。)